

町民のみなさんへ

災害は、いつ、どのように起こるか予測がつきません。ご家庭の災害への備えは、大丈夫でしょうか。

近年、日本各地では、地震や土砂災害、洪水など大きな災害が多発しています。本町でも、平成23年3月の東日本大震災や、平成28年8月の台風10号など、近年に限っただけでも、大きな災害がたびたび発生しています。

突然起こる災害から、自らを、そして地域を守るためには、町の防災対策などの「公助」、自主防災組織の活動などの「共助」、ご家庭の対策などの「自助」が互いに連携し、地域防災力を強化させることが重要となります。

また、「自助」においては、一人ひとりの防災意識を高めていただくことが大切です。具体的には、災害に備えて、災害対策の知識の習得や災害時に備えた準備、そして地域の危険箇所をあらかじめ把握しておくことなどです。

今回作成した防災マップには、大雨による洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域のほか、約1,000年に1度の大雨を想定した洪水浸水区域を掲載しています。また、避難場所、災害の種類に応じた防災情報なども掲載しました。

自らを、そしてご家庭を守るため、この防災マップを保存版として、いつも目の付くところに備え、各ご家庭で防災についての話し合いなどにご活用いただければ幸いです。

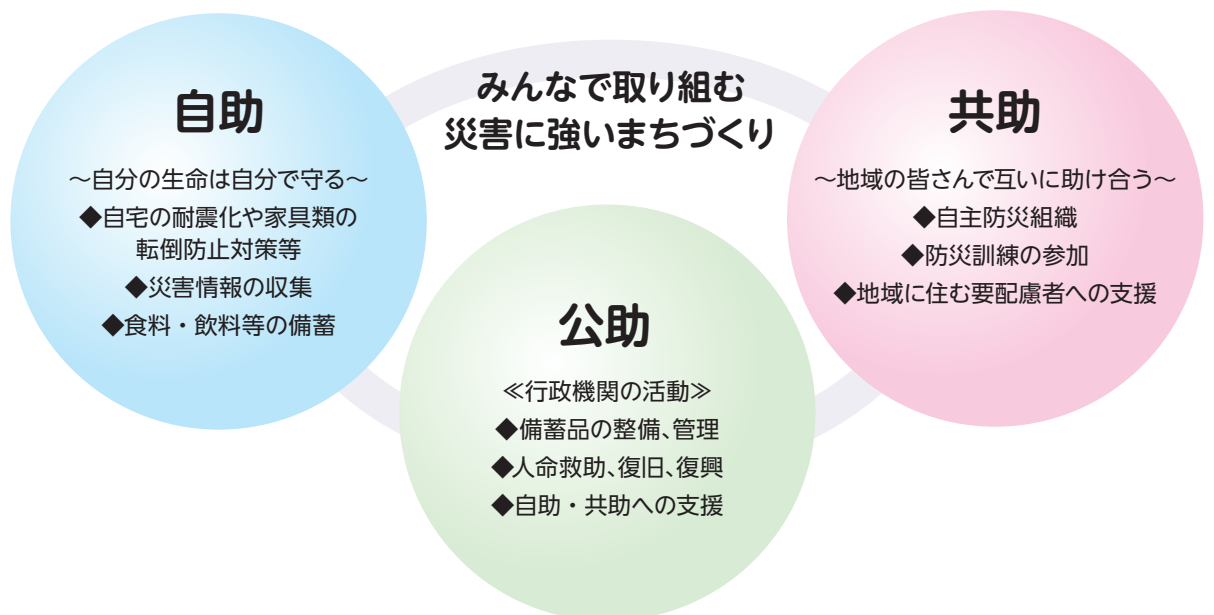
住 田 町

地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政の救助・支援「公助」の取り組みが必要です。

大規模災害時では、公助の機能に限界がありますので、「自助・共助・公助」が連携することにより、住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。

いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

<input type="checkbox"/> 家の中で一番安全な場所
<input type="checkbox"/> 家族一人ひとりの役割分担 ・安否確認、非常持出品・備蓄品のチェック、避難経路の確保、隣近所への連絡など
<input type="checkbox"/> 避難場所、避難経路 ・自宅と避難場所を確認し、マップに描き入れましょう ・避難経路を実際に歩いて確認しましょう
<input type="checkbox"/> 自宅付近の災害リスク、危険個所の確認
<input type="checkbox"/> 災害が起こった時の身の守り方
<input type="checkbox"/> 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
<input type="checkbox"/> 要配慮者（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など）のサポートと避難方法

